

令和元年度第2回渋川地域保健医療対策協議会地域医療構想調整部会 次第

日 時：令和2年2月25日（火）19：00～
場 所：渋川保健福祉事務所 会議棟2階会議室

1 開 会

2 挨拶 渋川保健福祉事務所長

3 議 題

(1) 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について

【資料1 - 1～1 - 4】

(2) 2025年に向けた対応方針の更新について

【資料2 - 1～2 - 4】

(3) 第8次群馬県保健医療計画の変更について（報告）

【資料3 - 1～3 - 3】

- ・医師確保計画案（最終稿） 外来医療計画案（最終稿）

(4) その他

- ・群馬県保健医療計画別冊 に掲載されている医療機関一覧の更新について

【資料4】

- ・医療計画の中間見直しについて

【資料5】

- ・地域医療介護総合確保基金（令和元年度）の状況について

【資料6】

4 そ の 他

5 閉 会

令和元年度第2回渋川地域保健医療対策協議会地域医療構想調整部会出席者名簿

【委員】

No	所属機関	役職	氏名	備考
1	渋川地区医師会	会長	川島 理	部会長
2	群馬県有床診療所連絡協議会	理事	神保 進	
3	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	院長	斎藤 龍生	
4	北関東循環器病院	副院長	中島 邦喜	
5	渋川中央病院	院長	菊地 威史	
6	北毛病院	院長	橋本 真也	
7	田中病院	院長	田中 永	欠席
8	関口病院	院長	関口 浩五郎	
9	群馬県立小児医療センター	院長	外松 学	副部会長
10	渋川市	スポーツ健康部長	酒井 幸江	
11	榛東村	健康保険課長	安田 睦	
12	吉岡町	健康福祉課長	米沢 弘幸	

【地域医療構想アドバイザー】

1	群馬県医師会	理事	服部 徳昭	
2	群馬県病院協会	理事	美原 盤	

令和元年度第2回 渋川地域保健医療対策協議会 地域医療構想調整部会 議事概要

日時 令和2年2月25日(火)
午後7時～午後8時10分
場所 渋川保健福祉事務所会議棟2階会議室

議題(1) 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について

- 資料1-1～1-3に基づき事務局、1-4に基づき渋川医療センターから説明
- 意見、質疑等の概要は次のとおり
(委員) 新たな財政支援があるので、統廃合を進める際に有利ということか。
(事務局) お見込みのとおりです。

議題(2) 2025年に向けた対応方針の更新について

- 資料2-1～2-4に基づき事務局から説明
- 意見、質疑等の概要は次のとおり
(委員) 2025年に向けた対応方針は各病院で変わっていないが、この会議で何を審議するのか。
(事務局) 2025年に向けた対応方針については、現状と将来が変わっているところを確認し、将来の医療提供体制のあり方について議論していただきたいと考えている。
(委員) 医療需要推計では、2020年から2030年にかけて大きな変化はないが、渋川地域の必要病床数では令和7年度に大きく病床を減らしているのはなぜか。
(事務局) 病床数の推計は平成27年患者調査をもとに推計したものであることから、乖離したものと思われる。
※必要病床数は高齢化による質の変化や在宅医療の推奨により算出している。
(地域医療構想アドバイザー) 将来人口が減少し高齢化が進むと、現状では問題ないが将来的にはどうなるか検討する必要がある。病院の経営にも関わる問題であるので、この会議で議論を進めていただきたい。

議題(3) 第8次群馬県保健医療計画の変更について(報告)

- 資料3-1～3-3に基づき事務局から説明
- 意見、質疑等の概要は次のとおり
(委員) 小児科医、産科医は増えていない。今後働き方改革でますます人手が足りなくなるが、各病院にいる小児科医、産科医を集約していかなければ厳しい状況にある。あとは良い研修プログラムを作って医者を集めるシステムを作っていないと難しい。
(地域医療構想アドバイザー) 国もずっと高齢者に注目して政策を実行してきたが、本当に問題なのは子ども達に関する政策である。どう増やして育てていくか、精神・産科・小児がタイアップして取り組まなければならない。この問題は、渋川地域だけの問題ではない。

議題(4) その他

- 資料4～資料6に基づき事務局から説明
- 意見、質疑等については特になし